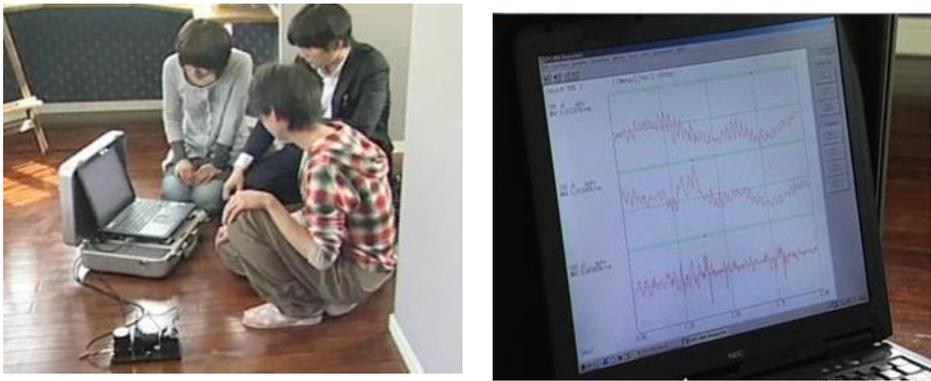


テーマ名	建物の“ゆれ”を見てみよう
担当教員	刑部 徹 講師
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	<p>建物は地震時以外でも常に小さくゆれています。その微小なゆれ（常時微動といいます）を計測することによって、大地震が来た時のその建物の動きをある程度予想することができます。その結果、大きくゆれてしまうと予想された建物は、耐震改修などの対策が必要となる場合があります。</p> <p>本授業では、この常時微動を実際に計測して体では感じることのできないゆれを確認します。また、例として常時微動計測の結果から得られた住宅やビルの振動シミュレーションを紹介し、建物の種類や状態による“ゆれ”の特徴を解説します。”</p> <p>※大学見学では 実験室もしくは校舎の常時微動測定を見学することができます。また、歩く・ジャンプするといった人間の活動によって、建物がどのくらい揺れてしまうのかを試すことができます。</p>
写真・画像	 <p>1 階および 2 階以上の床に小さな機器を設置します。</p>
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理）の生徒（普通高校・工業高校）